

PROFILE

1971年熊本市生まれ。上通入口のオブジェ「湧きたついのち」は代表作品の一つ。

年齢や障がいを超え
みんなをつなぐ架け橋
それがアート



COUCOU! ART&DESIGN

熊本市西区花園 1-15-33
URL : <http://www.junkoimada.com>
E-mail : imadajunko@gmail.com

2010年 2009年 2008年 2004年 2003年 1997年 1996年

熊本市現代美術館
で里帰り個展
熊本市現代美術
制作活動・デザイ
ン業務の傍ら大学
・専門学校などで講
師を務める

アメリカニュー
ヨークポロック財
団より助成

第1子出産

ミラノ市ブレラ美
術大学彫刻科卒業

渡伊。ミラノ市で
作家活動をスター
ト

熊本市立大学大学院教
育学専修(修士課程)
修了

輝きの軌跡

今田淳子さんの
キャリアストーリー

—現代アートとはどのようなもので
すか。

今田 社会や社会情勢への批判や問
題を反映して表現するものが、現代
アートの一つの在り方です。その中
で私がテーマにしている一つが、美
術教育に対する疑問です。

—疑問とは？

今田 鑑賞教育が少なく、未だに具
象とシンボル体系に偏っているところ
です。素材や作品を観て自分の価値観
で感想を伝えたり、批評することは、
アートへの関心や感性を育む上でとて
も大切。誰でもその人なりの感性を
持っています。また、表現すること、
作ることはとても有効なコミュニケー
ションです。それなのに「下手だから」
と表現することをためらっている人が
多いと思っています。上手・下手では
なく、アートはすべての人のもの。そ
のために《誰もが参加できるアート》
を体験するワークなどを、いろんな所
で提案しています。

—デイサービスでも活動しているそ
うですね。

今田 アートは子どもからお年寄り、
障がいのある人もない人もみんなを
つなぐ架け橋になり得と考えてい
ます。デイサービスでの活動には、
小学生の私の娘もアシスタントとし

て参加しています。アートを通して
教えてもらったり、教えたり、年齢
を超えたコミュニケーションを楽し
んでいます。

—イタリアでの活動や帰国の経緯を
教えてください。

今田 大学院修了後、アイデンティ
ティを作品に投影したくてイタリアに
渡り、学びました。日常とは別の視点
からコンセプトを洗い出したり、パッ
ションをぶつけて「生」を見つめるこ
ともアートと呼ぶことができると思い
ます。イタリアで出会った友人と思考
力は、私にとっての「宝」です。帰国
したのは、2009年の熊本での作品展
と娘の就学の時期が重なったためです。

—女子学生にアドバイスをください。

今田 コミュニケーションや人のつ
ながりを大切にしてください。一生
懸命になれることを見つけて、それ
に時間を費やす。もう二度と戻れな
い今を、精一杯楽しんでほしいです。

大学3年生の時に、私の
作品を見た人から「元気
になる」と、大きな作品
を求めていただきました。
このことがアートで生き
る契機になりました。

